

## 7. 障がい者の人権に対する考え方

### (1) 障がい者に対して人権上問題があると思うこと

問40. 障がいのある人に関する事柄で、特に人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。(いくつでも○印)

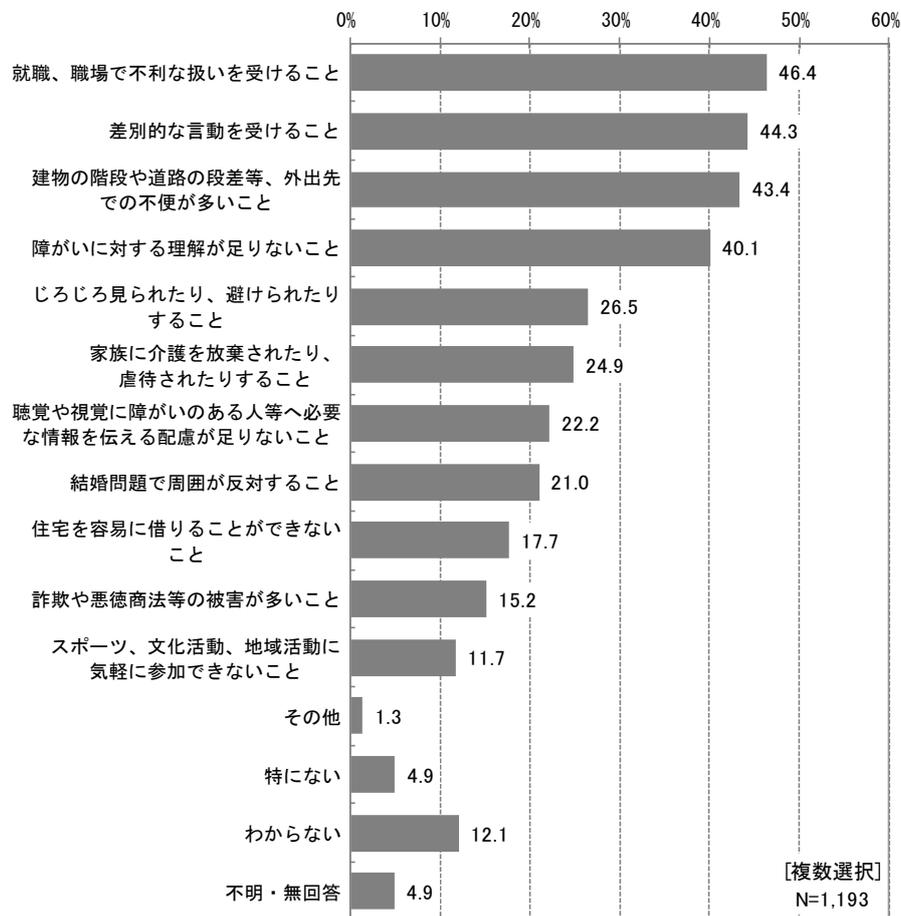


図 3.7.1 障がいのある人に対して人権上問題があると思うこと

○障がいのある人に対して人権上問題があると思うこと（図3.7.1）は、「就職、職場で不利な扱いを受けること」が最も多く46.4%、次いで、「差別的な言動を受けること」が44.3%、「建物の階段や道路の段差等、外出先での不便が多いこと」が43.4%となっている。

○性別（表3.7.1）にみると、男女ともに「就職、職場で不利な扱いを受けること」が最も多いが、男性（44.1%）よりも女性（48.3%）の方が4.2ポイント高くなっている。また、その他の項目についてもほぼ全て女性の方が割合が高くなっている。

○年齢別にみると、「就職、職場で不利な扱いを受けること」は30歳未満（59.5%）、40歳代（52.2%）で過半数を占めているが、70歳以上では3割台にとどまっている。また、「差別的な言動を受けること」についても、40歳代以下では過半数を占めているが、60歳代では3割台、70歳以上では2割台となっている。

表 3.7.1 性別・年齢別 障がいのある人に対して人権上問題があると思うこと

(MA%)

	N	を就職、職場で不利な扱いを受けること	と差別的な言動を受けること	いこと、外出先での不便が多	建物や道路の段差	障がいに対する理解が不足	けられたり見られたり、避け	と、虐待されたりするこ	家族に介護を放棄され	える配慮が必要な情報	聴覚や視覚に障がい	結婚問題で周囲が反対	が住宅を容易に借り	が多欺や悪徳商法等の被害	詐欺や悪徳商法等の被害	ないこと、気軽に参加でき	スポーツ、文化活動、地	その他	特にな	わからない	不明・無回答
全体	1,193	46.4	44.3	43.4	40.1	26.5	24.9	22.2	21.0	17.7	15.2	11.7	1.3	4.9	12.1	4.9					
性別	女性	659	48.3	45.1	46.9	43.7	28.8	28.1	23.5	22.3	19.1	17.6	11.1	1.4	3.5	11.5	5.0				
	男性	528	44.1	43.6	39.2	36.0	23.9	21.2	20.5	19.7	15.7	12.1	12.7	1.3	6.8	12.7	4.4				
	不明・無回答	6	33.3	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3				
年齢別	30歳未満	121	59.5	52.1	33.9	43.8	38.8	28.9	24.8	24.8	24.0	16.5	16.5	0.8	5.0	12.4	1.7				
	30歳代	178	49.4	53.4	48.3	47.8	39.9	30.9	25.8	19.7	15.7	18.5	8.4	1.1	1.7	7.9	3.4				
	40歳代	226	52.2	54.9	44.7	47.3	34.1	29.6	23.5	26.5	25.7	24.8	15.5	0.9	3.5	8.0	1.3				
	50歳代	173	48.6	46.8	50.3	48.0	23.7	29.5	28.3	18.5	22.5	17.3	12.1	2.9	2.9	7.5	3.5				
	60歳代	248	43.1	39.9	41.1	35.5	19.0	21.0	17.7	23.4	15.7	6.9	7.3	1.6	6.5	14.5	6.0				
	70歳以上	236	33.9	26.7	41.1	24.2	13.1	14.4	16.1	15.3	7.6	9.7	12.7	0.8	8.9	19.5	10.2				
	不明・無回答	11	36.4	27.3	36.4	45.5	18.2	27.3	45.5	0.0	0.0	18.2	9.1	0.0	0.0	18.2	18.2				

※網掛け■は最も多いもの

## (2) 障がい者の人権を守るために必要なこと

問41. あなたは、障がい者の人権を守るために必要なことはどのようなことだと思いますか。  
(いくつでも○印)

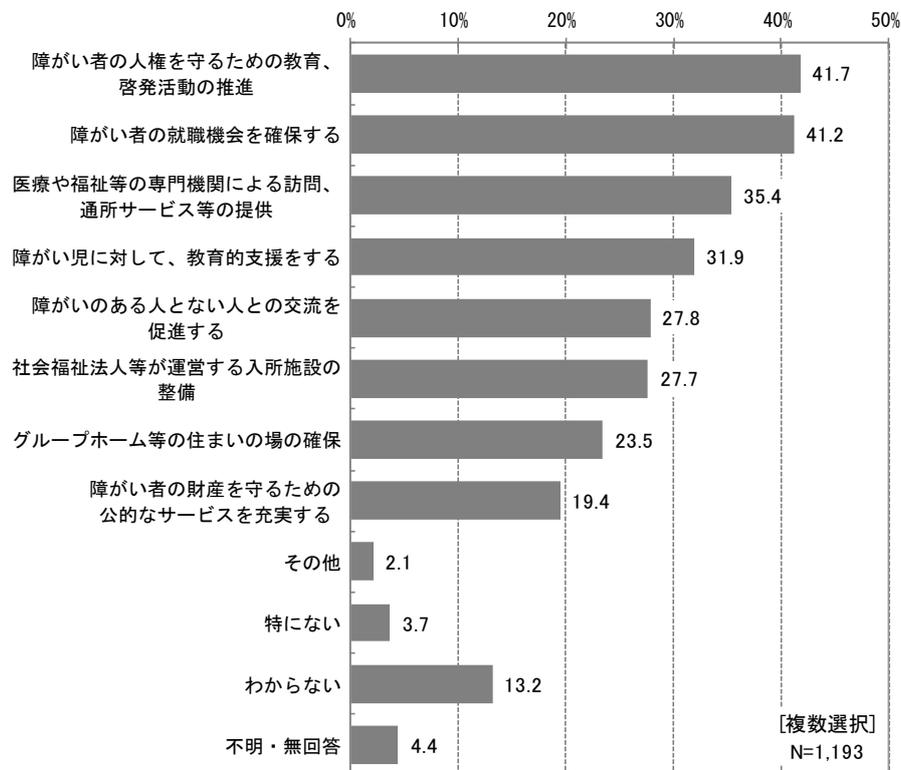


図 3.7.2 障がい者の人権を守るために必要なこと

○障がい者の人権を守るために必要なこと（図3.7.2）は、「障がい者の人権を守るための教育、啓発活動の推進」が最も多く41.7%、次いで、「障がい者の就職機会を確保する」が41.2%、「医療や福祉等の専門機関による訪問、通所サービス等の提供」が35.4%となっている。

○性別（表3.7.2）にみると、女性は「障がい者の就職機会を確保する」（41.9%）、男性は「障がい者の人権を守るための教育、啓発活動の推進」（43.4%）が最も多くなっている。また、女性では「医療や福祉等の専門機関による訪問、通所サービス等の提供」（41.1%）も多く、男性（28.4%）よりも12.7ポイント高くなっている。

○年齢別にみると、30歳代以下では「障がい者の就職機会を確保する」、40歳代～60歳代では「障がい者の人権を守るための教育、啓発活動の推進」、70歳以上では「医療や福祉等の専門機関による訪問、通所サービス等の提供」が最も多くなっている。

表 3.7.2 性別・年齢別 障がい者の人権を守るために必要なこと

(MA%)

		N	障がい者の人権を守るための教育、啓発活動の推進	障がい者の就職機会を確保する	医療や福祉等の専門機関による訪問、通所提供	障がい児に対して、教育的支援をする	障がいのある人との交流を促進する	障がいのある人との交流を促進する	社会福祉法人等が運営する入所施設の整備	グループホーム等の住まいの場の確保	障がい者の財産を守るための公的なサービスを実施する	その他	特になし	わからない	不明・無回答
全体		1,193	41.7	41.2	35.4	31.9	27.8	27.7	23.5	19.4	2.1	3.7	13.2	4.4	
性別	女性	659	40.5	41.9	41.1	32.9	28.7	30.0	26.7	20.6	1.8	2.0	13.5	4.7	
	男性	528	43.4	40.3	28.4	31.1	26.9	24.8	19.1	18.2	2.3	5.9	12.9	3.8	
	不明・無回答	6	33.3	33.3	16.7	0.0	16.7	16.7	50.0	0.0	16.7	0.0	0.0	33.3	
年齢別	30歳未満	121	40.5	52.9	25.6	36.4	29.8	19.0	25.6	23.1	5.0	5.0	14.0	1.7	
	30歳代	178	44.4	49.4	37.6	39.9	29.2	25.8	26.4	21.3	3.4	1.1	9.6	3.4	
	40歳代	226	42.9	41.2	33.2	35.0	26.5	21.2	23.9	20.8	1.3	3.5	14.2	0.4	
	50歳代	173	51.4	44.5	41.6	37.0	33.5	32.4	28.9	24.9	2.9	0.6	9.8	2.9	
	60歳代	248	38.7	37.5	36.7	24.2	26.6	31.0	23.4	16.5	0.8	6.0	11.3	7.7	
	70歳以上	236	35.6	30.1	36.4	25.0	24.2	33.5	16.5	14.8	0.8	5.1	18.2	7.6	
	不明・無回答	11	36.4	45.5	0.0	36.4	27.3	9.1	9.1	0.0	9.1	0.0	27.3	18.2	

※網掛け■は最も多いもの